

別紙「環境部・地域美化担当からの報告」

環境部・地域美化担当 小西

前年度より、ゴミステーションの環境改善工夫の過程で、最近の段ボール・古紙やペットボトル廃棄量の増加への対処をどうしたものかと思案しておりました。

昨年の活動当初より、段ボール・古紙等は単なる廃棄だけではなく住民に回収収益が戻る方法はないのか？と考えておりましたが、管理センターからも明確な反応も無く、この一件は前進する事なく留まっておりました。

そんな中、今年度から防災部として区民の会活動に参加下さる坂本様より、有難い事に、回収業者様のご紹介を頂きました。

その後3月末に管理センター、坂本様、山口区長、環境部で会合を持ち、一步を踏み出しました。

まだ詳細はこれからですが、段ボール・古紙、ペットボトル、アルミ缶の4品目について全GSをこれまでより頻度を増して回収し、その収益は住民へ頂ける事になります。

これについてはあくまで、業者様とは区民の会が契約を結ぶ事になります。

管理センターからは、意図するところが可能かどうか？住民の方から直接町へ問い合わせ願うという事でしたので、4月6日に区長にご同行願ひ、町環境衛生課に行って参りました。昨日、課担当より、町条例や規約等に反することはないのでどうぞお進め下さいとのご返答を頂きました。

区民の会で承認を得、業者様との契約の暁に、申請すれば古紙についてはおまけにリサイクル奨励金まで頂けるというお話でした。

GSは綺麗になり、管理センターは業務削減にも繋がるでしょうし、区民の会（ダイヤランド住民全体）の利益にもなり、一石三鳥の事と思いますので、皆様のご支援の程、よろしくお願い致します。